

# 都庁舎も都有地も施設も財源も情報も…すべては都民のもの!!

●横行するタダ貸しと、取りっぱぐれの事態

## 知っていますか？ 都有財産の私物化状態

小池知事就任後、IOCと組織委、政府、都による4者協議や、仮設の費用負担について関係自治体との議論の様子が公開されたことは、画期的で溜飲が下がりました。というも、地方財政法では「タダ貸しせよ」等、国は地方自治体に強制してはならぬと定められているのに、前知事のオリパラ事業では、都有地を喜々として差し出していると思えず、その経緯も不明だったからです。地域ボランティアや町会等が公有地を拝借しようとすると法律・条例を理由に門前払いするくせに、公的権力側が使うとなればどんぶり勘定の大判振る舞いは誠に由々しき実態ですが、こうしたことはオリパラに限ったことではないのです。

## 25年に渡る都庁舎タダ貸しは160億円の損失!?

都庁には平成3年の竣工以来、職員組合12団体が事務所を構えています。その総面積は1,817.46㎡。これを貸し出したら一体いくらになるのか、第二庁舎のコンビニ店貸付金額2万7千円/㎡で試算したところ、なんと月額5300万円、25年分で160億円となりました！私は江戸川区議時代、契約が曖昧だった無償貸与組合事務所を指摘して、賃借料を徴収するに至りました。都の財務局にも質したところ「組合との労使関係の維持は円滑な都政運営に貢献。労働組合法で無償貸与は認められている」とのことでしたが、労組法第2条では「最

限の広さの事務所の供与」のみが認められるとしています。都庁舎の総面積1万㎡のうち12団体が使っている割合は17%に及び「最小限」とは言えず、都民ファーストの観点からすると、民間平均給与より高い公務員給与にあって月額5千万円チャラにしての組合活動も理解できないはず。「場所が狭くて…」という各局課長職の悩みも多々聞きますし、知事が旗を振る東京大改革チームの物理的な仕事場も必要でしょう。都有財産を公務員の身分確保でタダ貸しするのではなく、適正賃料を取るか外部に出て行っていただき、第一線職員の仕事場に還元してほしいものです。

## 生産緑地耕作放棄でとりっぱぐれる固定資産税

次の問題は税金徴収漏れとも言える、生産緑地の耕作放棄。上田のライフワーク政策の1つです。「生産緑地」は生産緑地法に則って、緑地保全を条件に固定資産税を大幅に減免されています。にも関わらず、緑地保全を放棄するのは脱税行為に等しく、区議の頃は「都は固定資産税徴収を放棄していることになるのではないか!？」と都へ監査請求を出し、都議になってからは、主税局に耕作放棄地への適正課税と宅地並課税だった場合の税収見込みの把握を、産業労働局には徹底管理を、執拗に質疑し続けています。残念ながら今のところ、都は「個々の納税者の税務情報に該当するため答えられない」の一点張り。耕作放棄の管理指導も区市町村農業

▼草ボーボーの江戸川区内生産緑地(平成28年6月撮影)政府は農地法改正で耕作放棄地対策を強化しているのに…(怒!)



委員会にお任せ状態です。農業委員会の監視がちゃんとしていれば、私とて監査請求までしなかったのですが…。ただ、都に直接通報があれば農業委員会へ指導するとのことですから、生産緑地耕作放棄を見かけたら農業振興課(03-5320-4831)へご一報を。その際には、忘れずに生産緑地看板にナンバリングされている緑地番号を伝えることをお忘れなく!

## “ワイズスペンディング”と情報公開で守れ都民財産

言うまでもなくオリパラ競技場も、都庁舎も、都有地も、税金そのものも、すべては都民の財産です。確信犯的耕作放棄地で失われる税収情報も都民のものなのです。これまでの都庁と都議会には、その意識が著しく欠如していました。都政改革本部が設置された今、『都民ファーストの会東京都議団』の誕生で都議会にも激震が走り、ようやくワイズスペンディングの精神が根ざし始めています。日々を慎ましく暮らし、せせと納税している都民を思えば、これは誰に言われるまでもなく身につけるべき公吏と公人の良識。今後は、改革派を気取るにわか議員のバケの皮を剥がし、一過性のムーブメントに終わらせないためにも、情報公開による都民の知る権利の担保は不可欠です。その情報をもって監視し「自ら治める」住民自治が実現すれば、都民財産を食い物にするドンもヌエも絶滅するのです。



「地域課題を解決したい」「ここがヘンだよ東京都!」「身の回りのこと・各種行政相談をしたい」etc....

皆様の声  
お寄せ下さい!

都議会-NEWS 2017 発行人/東京都議会議員(江戸川区選出)上田令子

〒132-0033 東京都江戸川区東小松川4-57-12 Tel & Fax: 03-5678-4707 Mail: ueda@ueda-reiko.com

# 都議会-NEWS

東京都の今をお届けする、都議会議員・上田令子の東京都政報告です。



Renaissance & Revolution >>> 『&』 vol.15

上田令子 検索

## 都民ファーストの会

東京都議団

うえだれいこ  
プロフィール

台東区立黒門小、文京区立第六中、都立三田高、白百合女子大文学部。外資系生保等数社を経て起業も。結婚を機に江戸川区の夫実家にて3世代同居。2007~12年江戸川区議会議員、2013年東京都議会議員初当選。現在、厚生委員会副委員長。

平成28年の上田の質問総数は以下の通りです。

第3回定例会(本会議での質問)	18問
文書質問(本会議ごとに行ける文書での質問)	187問
警察・消防委員会(所属常任委員会での質問)	31問
厚生委員会(所属常任委員会での質問)	81問
オリンピック・パラリンピック等推進対策特別委員会(所属特別委員会での質問)	27問
平成28年予算特別委員会(予算に対する質問)	24問
平成27年度各会計決算特別委員会(決算に対する質問)	41問
合計	409問

平成25年当選以来質問総数は都議会史上過去最多級の1155問!

## 東京都議版三ツ星議員で1位に

田原総一郎氏、堺屋太一氏らが主宰するNPO法人『万年野党』では、全国議会議員をはじめ個々の活動状況データに基づき『三ツ星議員』の表彰を行っています。本年2月1日に『東京都議版三ツ星議員』公表に向けた中間発表として『東京都議版三ツ星データ<暫定版>』を公開。上田令子が都議会質問1位(63回)、文書質問1位(8回)になり、地道な質疑の積み重ねが広く世に認められることになりました。

【平成25~28年 東京都議会質問ランキング】(敬称略)

順位	氏名	会派	質問数
1	上田令子	かがやけ Tokyo	63
2	里吉ゆみ	日本共産党東京都議会議員団	60
3	かち佳代子	日本共産党東京都議会議員団	52

## 【都民ファーストの会 東京都議団】

# 小池百合子都知事と進める東京大改革集団誕生!!



小池百合子都知事誕生にあたり都議会で唯一応援をした、両角みのる都議会議員、おときた駿都議会議員、上田令子による『かがやけ Tokyo』は、平成29年1月23日『都民ファーストの会東京都議団』と名称を変え、新たなスタートを切りました。

時はまさに、ドン(都議会のブラックボックス)とヌエ(都庁官僚制)が牛耳り停滞させてきた都政を変革する千載一遇のチャンス!『都民ファーストの会東京都議団』では全力で、知事の進める「東京大改革」実現の一翼を担ってまいります。

一方、大きな都政の流れや都庁という巨大な行政組織にかき消されがちな地域住民の声には、引き続き上田が女性、母親、民間出身者として耳を傾け、命と生活に密着した課題発見と共有に努めてまいります。

## 都政史上初の女性知事の初本会議で一般質問

平成28年第3回定例会は、小池知事初の本会議となり全国的な注目を集めました。上田は福祉から行財政改革まで多岐にわたる一般質問を行いました。知事はどの会派にも公平に答弁。誹謗中傷の野次文化は消滅し健全な二元代表制が実現するという、議会改革の歴史的な転換点に立ち会うことができました。私は質問の最後に「神は細部に宿ると言う。知事が高らかに掲げた改革マインドが16万人すべての都庁職員の心に灯り、馴れ合い、先送り、隠蔽から都民ファーストの善政競争へと昇華することを心より祈る」と万感の思いで述べ締めくくりました。都政初の女性知事の初本会議で質問が叶い、まさに「女子議員の本懐」を遂げた次第です。

【総括】「知事が変われば議会が変わる」とは、古い行政・議会を一新した改革派知事の草分け、北川正恭前三重県知事の言葉。『都民ファーストの会東京都議団』は、都政でまさにその先鞭をつけてまいります。

## 新予算は要不要のメリハリつけて全体を節減！ 上田指摘の都の借金残高も公表へ。

平成29年度一般会計予算は6兆9,540億円となり、7兆円を超えた昨年とは対比的に総予算規模も5年ぶりの減となりました。一方、福祉保健分野は1兆2千億円で過去最高に。税金は6年ぶりに減少したので予算を減らすのは当然なのですが、利益誘導型議会を恐れ、これができる首長は少ない！ましてや限られた財源の中、必要な福祉事業は拡充するとなれば至難の技なのに、新知事による新予算では難なくクリア。その一環として、議会対策と言われた200億円の所謂『政党復活予算』を都議会のドンから召し上げ、昭和30年代以来の悪しき慣習に楔を打ち込んだのです。

また、かねてより財務局に「都の借金が明確にならずして、予算を編成することは不可能。都債残高（＝都の借金残高）推移を都民と議会へ、わかりやすいグラフにして情報提供せよ」と要請していたところ、新年度予算概要には無事掲載されることになったのです。これにて約6兆円もある借金が可視化でき、都民の知るところとなれば「マズイ…さっさと返さねば！」という危機感が都庁にも議会にも生まれることでしょう。

るので、監査委員がチェックすべきでした。決算委にて年間数日しか現地に行っていないことを明らかにし、「盛り土がないことや地下空間の存在、中央卸売市場による虚偽の説明をなぜ、監査で見抜けなかったのか」と斬り込み、虚偽の説明や図面の矛盾点を見抜けず「問題なし」というお墨付きを監査委員が与えてしまった実態をあぶり出しました。都民は税金を払いながら税金の使い道と都民の財産である行政財産の管理監督をお願いしているのです！今後、オリ・パラ会場においても、工事に着手し、都有地（＝都民財産）の無償貸与もしていくわけですから、益々監査委員の存在意義が問われます。ザル監査のお墨付き機関とならぬよう、都議会でもあまり関心が払われない監査委員を上田は「監査」しています。

【総括】総務省答申では「議員枠を置かないことを選択肢として設けるべき」とし、議員監査委員の法改正の動きがあります。まずは、公平性・専門性が疑われるアテ職都議委員が横行してきた制度を見直すべき！

## 知事も都立迎賓館「延遠館」見直しを明言！ 都市外交予算も大幅カットに。

都立浜離宮恩賜庭園に建設しようとしている、総工費30～40億円と言われる都立版迎賓館は、豪華絢爛都市外交を展開した前知事の「負のレガシー」。私は、一般質問にて「既存施設やホテルなど利活用する方が常設施設を持つよりも経費が節減でき、景気貢献もできるのでは」と提言し、その後、小池知事所信表明にて、延遠館復元構想の見直しと、インバウンドにむけて「都立の美術館や庭園を活用」することが明らかに。都市外交予算は、昨年より5.8億減の13億円となりました。スクラップ&ビルド公共政策から、女性政治家によるMOTTAINAI政策の時代到来です。

【総括】そもそも、タワーマンション急増で保育園が足りない中央区民の皆様は、なんら喫緊の区民生活に寄与しないであろう多額の税金のかかる延遠館を欲しがっていたのでしょうか？ 地域住民の声を聴くところこそが真のレガシーです。

## 青山骨董通りに救急ヘリが飛んで大丈夫！？ 広尾病院移転凍結。

広尾病院の青山への移転について、日本有数のファッション街の安全確保に危惧し、昨年11月厚生委員会にて「周辺住民

に緊急車両・ヘリ等地上・上空の交通をどのように説明してどんな反応があったのか」問うたところ「当時国からの用地取得に向けた交渉を続けていたことから、差し控えていた」との住民不在の驚愕の答弁でした。続く本会議にて両角都議も論及しまして、知事も白紙撤回を宣言。実際、新年度予算では用地会計を370億減額補正となりました。移転前提段階でも広尾病院の跡地についても使途不明ということでしたから、ゼロベースに戻すことができ安堵しています。

【総括】広尾病院120周年式典に出席した3年前には、現地での建て替え計画を若い医師らが情熱的に語っていたのに、いつの間にやら青山移転が急浮上。前院長の告発も納得です。ともかく病院計画なのですから、ヘリに乗る患者さん、周辺住民、運転する消防庁職員の安全ファーストを求めてまいります。

## 夜明けを迎えた保育園待機児童問題。 この機運を逃さず推進を。

私が議員となったのは、保育園探しに苦労したことがきっかけです。区に陳情しても埒が明かず「議会に当事者を！」と現在に至っていることから、保育・子育て支援は私の一丁目一番地の取組です。ゆえに「東京大改革」の中で、最も達成感を感じたのは、これまで「絵に描いた餅」であった保育園待機児童施策を、万人が理解できる目に見える形にし、具体的な施策を実施していったことです。中でも「待機児童解消に向けた緊急対策」補正予算126億円は圧巻です。都有地の積極的活用を促す「とうきょう保育ほうれんそう」（延遠館の土地は保育園にいかがでしょうか？）、保育コンシェルジュの増員、保育の質担保のため巡回指導人員の拡充、保育士人件費加算等待ってました！の事業満載です。対策費本予算は1,381億円と403億円増。マタハラを受け給湯室で泣いた時お腹にいた私の長男も、4月から社会人に。長い闘いに一筋の光がさしてきました。今後も保育問題のオーソリティ上田にご期待と要望をお寄せ下さい。



【総括】知事査定にて、大幅に予算が増えた待機児童対策。このくらいダイナミックにやらないと解決しないのです。東京が変われば日本が変わる！全国と政府への政策波及も促進します！

## 江戸川区小1男児虐待死事件から7年。 児童相談所移管で江戸川区の悲願叶う。

江戸川区で、平成22年に小1男児が継父・実母の暴行による虐待死事件が発生しました。歯科医が、男児の頬にあるアザを見つけ江戸川区の「子ども家庭支援センター」に通報するも学校への情報提供にとどまり、児童相談所への通報に至らず最悪の事態に。当時、私は区議で、事前に命を守ることが出来なかったことに重い責任を感じました。それは今も…。縦割り行政の中にこぼれ落ちていく子どもの生命を守りたいと、児相の区への移管への強い思いがこの時生まれ、都職員も閉口するほど繰り返し要請して来ましたが、また区長会の根気強い都や国への働きかけ、法改正も後押しとなり、いよいよ児相移管が現実味を帯びて来ました。江戸川区は、新年度予算に一時保護所を含む予算を計上しており、我が江戸川区にて、児相移管の先行事例が実現できることは、この上もない喜びです。

【総括】小1だったK君が生きていれば中学2年生。改めてご冥福をお祈り申し上げます。今を生きる子どもたちの未来を守るため、「虐待かな!？」と思ったら迷わず地域の子ども家庭支援センターへ！（江戸川区03-5662-5115）命の危険があるときは110番を！

## 繰り返される学校事故。都立高での 重大事故発生を指摘し教育長が謝罪

昨年7月、都立高校の授業中、体育教師の危険極まりない飛び込み指導により、男子生徒が首の骨を折るあつてはならない「学校災害」が発生しました。部活・体育、体罰、食物アレルギー、地震など…すべての「学校災害」で、命は奪われてはならないと学校保健安全法で定められています。一般質問で質したところ教育長は「まことに慚愧に堪えない。心からお詫びを申し上げます。一日も早い回復を願い、要望等を真摯に受け止め、あらゆる支援に最大限努め、関係者処分は厳正に対応」と率直に過失を認め陳謝し、対策を明示しました。東京都教育委員会も変わりつつあることを評価しつつも、定点観測の手は緩めませんので、生徒諸君、保護者の皆様ご安心ください。

【総括】大阪の組立体操事故を受け、体育的指導の安全対策を講じると公表した矢先だったのは大問題。元気に送り出した我が子が、たった数秒の愚かな指導で大怪我をしたり、命を奪われてはたまりません。一刻を争う学校問題110番は上田まで！

## 【総括】「東京都平成29年度予算案概要のP.23より」



たかがグラフ、されどグラフ。苔の一念岩をも通す。一見小さな情報公開が問題意識を拡げ、大きな財政改革に繋がっていく！

## 注目の豊洲移転・オリパラ問題の諸悪の根源は …機能しない行政組織。

移転延期にあたって当初批判の声が上がったものの、地下空間・盛り土問題、最大で環境基準の79倍のベンゼンなどが地下水から検出されたことに鑑みれば、大英断。その後、豊洲問題プロジェクトチームや特別委員会も立ち上がりましたが、本来都には行政が、都民や都議会の監視をすり抜けて虚偽や不正を行わないため最後の砦として、一級建築士もいる監査委員制度があ

## 【上田令子活動報告】

2016  
9月

## activities report

### 元参議院議員神取忍氏と対談 「イジメ撲滅活動連携」

弱いイジメは許さない！動かぬ学校現場にはコブラツイスト！イジメ自殺が後を絶ちません。教師によるものも散見され児童・生徒のためのアクションを起こしてまいります。



### 深刻な保育園待機児童問題 「江戸川区はワースト2位！」

保護者の状況に合わせて申請書の書き方や育休取得タイミング等助言を平成11年から継続。先輩ママによる税金かけぬ「保育コンシェルジュ」の先駆け！



2016  
10月

## ～世のため都のため人のため。

### 全国女性議員と課題共有 「北川正恭元三重県知事に学ぶ」

実力派女性議員が一堂に会し、地域創生実現のため対案のない批判から、善政競争ができる議会改革・政策提案について活発に議論。都政に活かします。



2016  
11月

## あいも変わらず東奔西走！～

### 主権者教育勉強会 「子どもは有権者ではなくても主権者」

林大介東洋大助教の、地域における若者の政治参加の定義は至ってシンプル。仮に実現しなくても思ったことは声に出してい、そこから始まるということ。



2017  
1月

## to be continued